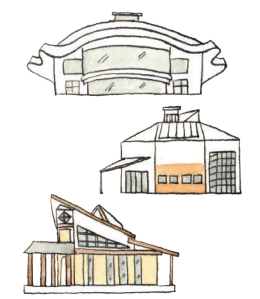
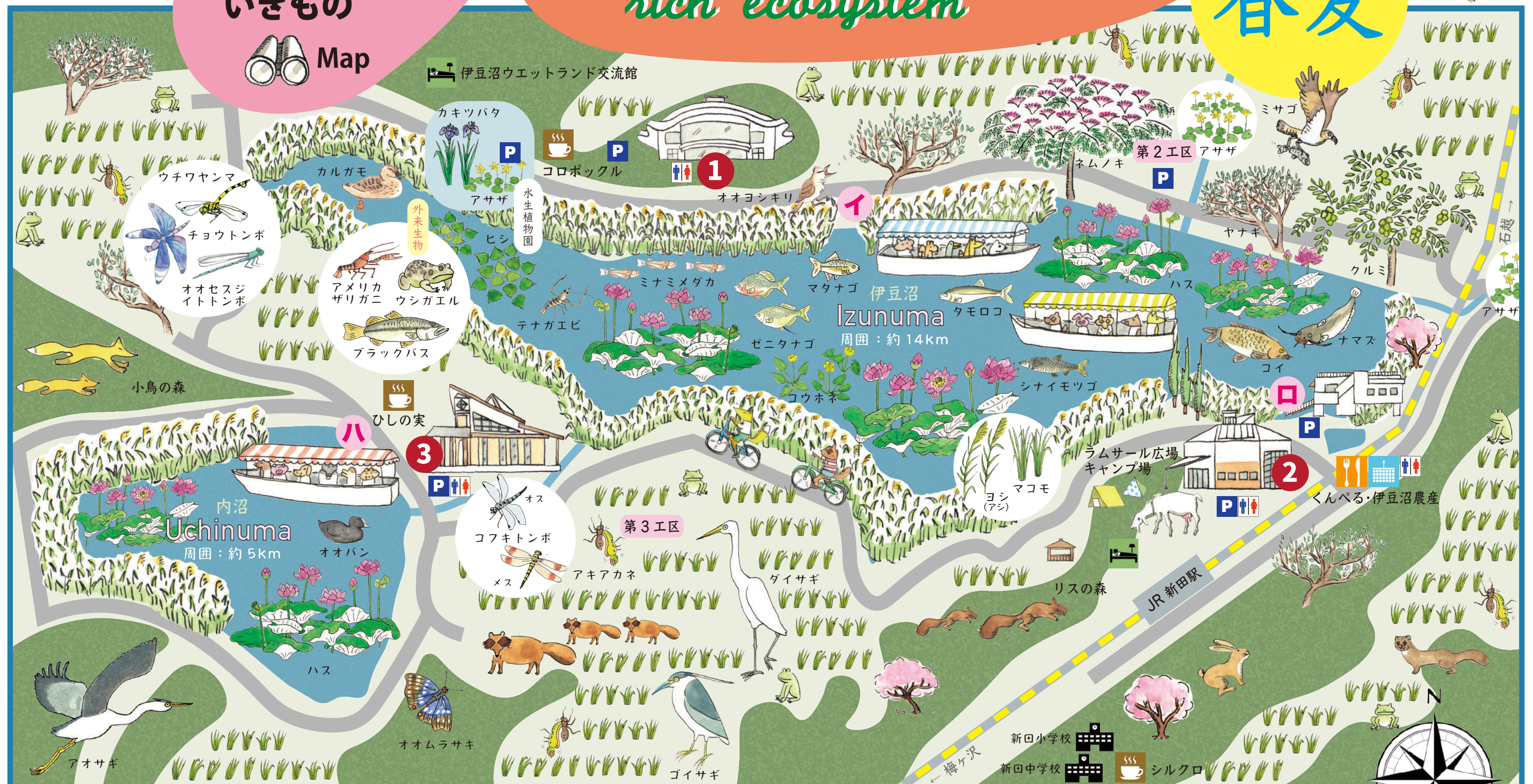


伊豆沼・内沼 いきもの



Izunuma & Uchinuma rich ecosystem

春夏



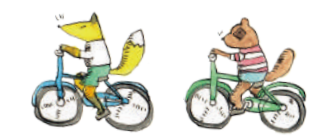
- 1** 宮城県 伊豆沼・内沼
サンクチュアリセンター ● 鳥館
- 2** 登米市 伊豆沼・内沼
サンクチュアリセンター ● 淡水魚館
- 3** 栗原市 サンクチュアリセンター
つきだて館 ● 昆虫館

- 遊覧船**
ハスマツリ
乗り場
- イ** 若柳船着き場
7月下旬～8月下旬
- 口** 迫町船着き場
7月下旬～8月下旬
- ハ** 内沼船着き場
お盆の期間

- 伊豆沼農産**
自家製のハム、ソーセージ、ジェラートや、地域の農産物、食品、手作りグッズなど
- くんべる**
伊豆沼農産の赤豚を使ったレストラン
- 伊豆沼レイクヒル天上**
田園風景を一望できる一棟貸しの宿
- 伊豆沼ウェットランド交流館**
伊豆沼を一望 合宿や体験学習 研修などに利用できます

- コロポックル**
素晴らしい展望、ジャズ喫茶
- シルクロ**
三塚牧場の和牛を使ったハンバーガーなど
- ひしの実**
地域食材などを使ったホットサンドなど
- ラムサール広場、キャンプ場**

- トイレ**
- 無料駐車場**



いきもの MAP スポット詳細

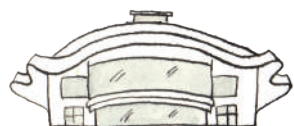


【開館時間】 9:00～16:30 【休館日】 月曜日、祝日の翌日、年末

宮城県北部 登米市・栗原市にまたがる伊豆沼・内沼は ラムサール条約登録湿地、国指定鳥獣保護区です

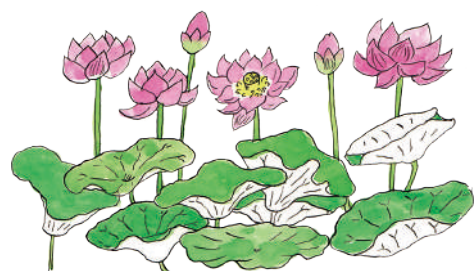
豊かな生態系を育み周辺の住民にとっては生活や文化と切り離すことの出来ない伊豆沼・内沼です
残念ながら失ったものもあります 現在それを取り戻そうと 様々なとりくみをしています！

水生植物



サンクチュアリセンター ● 鳥館

鳥館や植物園では かつて伊豆沼内沼に繁殖していた水生植物を観ることが出来ます
いつの日か蘇ることを楽しみに！

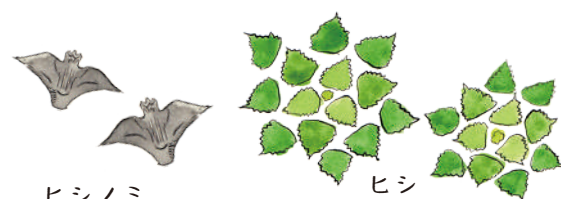


ハス

和蓮ですハスの実はご飯に混ぜたり 地域の人々にとって懐かしい食文化です 葉はお盆のお供えに使います 地域の生活と切り離せないハスですが 増えすぎた葉は沈殿し水質悪化の原因にもなっています



コウホネ



ヒシノミ

ヒシノミは ご飯に混ぜて食べました
地域の人々にとって懐かしい食文化です

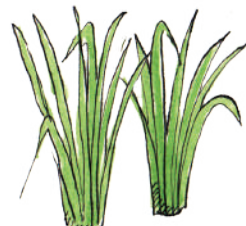


アサザ

第2工区の水路などで群生しています午前中のみ開花 よくみると花びらがフリンジでかわいい



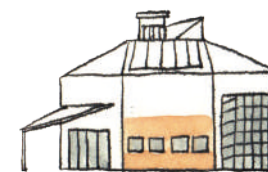
ヨシ
茅葺き屋根の材料として使われてきました



マコモ
水質浄化してくれます
冬に根っこをハクチョウが食べます

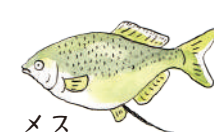
淡水魚

春 沼や周辺の水路では フナやコイの のっこみ（産卵）がみられます

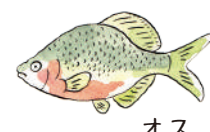


サンクチュアリセンター ● 淡水魚館

地域から集められた淡水魚を観ることが出来ます
2階には地域で使われてきた漁具も展示



メス



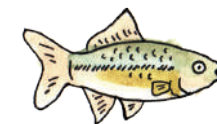
オス

ゼニタナゴ

日本固有種のゼニタナゴは ブラックバスなどにより絶滅しつつあります しかし伊豆沼では ブラックバス等の駆除により少しずつ個体数を増やしています



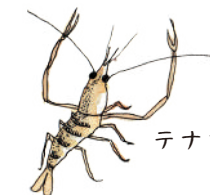
フナ



マタナゴ



ミナミメダカ



テナガエビ



シナイモツゴ



タモロコ

佃煮にして食べます 地域の食文化です

とりくみ

ブラックバスの駆除 水質改善をすることで 本来の生き物を増やすことが出来 素晴らしい地域環境を取り戻すことが出来ます

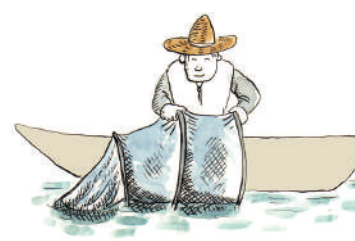
バス・バスターズによる ブラックバスの駆除！



卵を捕獲



稚魚を捕獲



定置網にて捕獲



電気ショックを与えて捕獲



地元の学生たちと 水質浄化してくれるマコモを増やす活動をしています

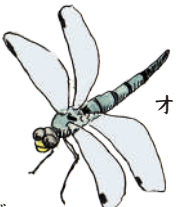
研究者たちと地元住民やボランティアの協力で 多様な美しい沼を取り戻す活動は少しずつ成果を上げています どうぞ皆さんも自然体験やバス・バスターズの活動に参加してみてくださいね！

昆虫



サンクチュアリセンターつきだて館 ● 昆虫館

昆虫館では 沼周辺の昆虫に加え 世界の昆虫標本を観ることが出来ます

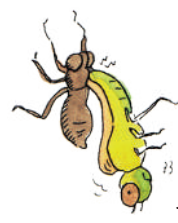


オス

コフキトンボ
(シオカラトンボ)



メス

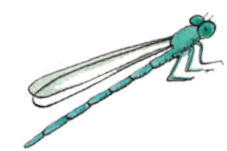


アキアカネ

春 田んぼではアキアカネの羽化がみられます
夏 涼しい山へ移動し 秋には赤い色になって帰ってきます

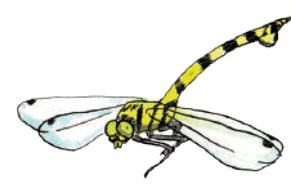


チョウトンボ



オオセスジイトンボ

沼の水質が良くなれば 水底に光が届き藻が育ちます ヤゴ（トンボ）が育ちやすい環境になります



ウチワヤンマ



オオムラサキ

伊豆沼・内沼 イラストマップ 春夏版
2025年1月制作

発行元：伊豆沼農産 農村産業研究所
連絡先：0220-28-2986

協力：伊豆沼・内沼クラブのみなさん
イラスト・デザイン：アトリエ「み」